

■令和4年度計画の要点

◆基本的な考え方

新型コロナウイルスの新種であるオミクロン株が収まらない中始まった2022年度は、新型コロナの影響をまだまだ大きく受けるが、ワクチン第三回接種も進む中、通常経済を取り戻さないと日本が世界の中で取り残されてしまう。収束はどうか予測がつかないが、2020年度予算（通常予算）の85%経済で基本は考えている。さらに強い新種コロナ株が出現してどうしようもなくなったときは、その都度経費も抑えるべく毎月毎月修正しながらやっていくしかないという前提で計画している。

2021年度は秋頃にはコロナも収束すると当初は考えていたが、オミクロン株出現による影響は、簡単に消えるものではなく、2022年度は「withコロナ」という考え方で、経済活動していくしかないのではないかと考えている。

新型コロナは印刷業界にも多大な影響を与え、JAGATとしてはコロナ禍の影響や印刷業界のテレワーク状況、インサイドセールス調査等、調査活動はタイムリーなものへシフトして調査している。

今までリアルで行っていたイベントはオンラインに移行したが、2022年度はリアルな方が良いイベントはリアルで、開催したいと思っている。その最右翼がpage展で、これはオンラインイベントも経験しての評価である。JAGAT大会は状況が許せばリアルで開催したいと考えている。

JUMPやJAGAT近畿大会は、オンラインを前提に計画している。JAGATはオンライン開催にも慣れてきたので、JAGATならではのオンラインイベントを目指して企画するつもりだ。

会員が気軽に東京に遊びに来られる環境も、2022年度前半（2/4四半期）は無理そうなので、Zoom等の仕組みをフルに活用してコミュニケーションを図っていきたいと考えている。これもコロナ禍の状況次第だが、「夏フェス」等のイベントはオンラインで、より充実していきたいと考えている。そして「page2023」リアル展については、最悪の事態も考慮しつつ、page2022の反省も活かして実施していきたい。

●研究調査部

印刷ビジネスについて技術・メディア・市場の観点から、広く印刷産業に貢献すべく継続的な研究調査活動を展開し、研究調査結果は会員を通して広く社会に発信する。令和4年度については特にafterコロナ時代のニューノーマルを見据え、創注を重点に、印刷技術・マーケティング・デジタル印刷・クロスメディア・地域活性ビジネス・見える化を重点テーマとする。

毎月の研究調査の成果は機関誌「JAGAT info」の誌面を通じて会員に届ける。年間の研究調査の成果は「印刷白書」に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会（JAGAT大会・JAGAT地域ブロック大会）、pageカンファレンス等、様々な機会を通して発信するほか、特定分野の研究成果については適宜、書籍として刊行して業界に提供する。

リアルイベントならではの直接コミュニケーションの良さも踏まえて再開を見据えるほか、オンライン配信を拡充して全国印刷会社へのさらなる情報配信に取り組む。

●CS部

教育機会の提供を担う部門として、各社の教育計画／教育体系づくりを支援する。業界のトレンドをとらえ、顧客ニーズに基づくセミナー・通信教育・書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施を通じて人材育成、ビジネス拡充に貢献する。

page2023は池袋サンシャインシティ展示会場にてリアル開催を計画していく。来場者が安心安全に来場できる環境づくりと、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、イベントの企画を行うことで来場者増を図っていく。

●西部支社

近畿会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。企業・各種団体との協力、連携をさらに深め、JAGATならではの人材育成メニューを強化する。また、企業ニーズに応える人材育成事業を充実し、社内研修にも対応する。

■研究調査部

●部門方針

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成して印刷全般をカバー、研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌「JAGAT info」を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は「印刷白書」に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会（JAGAT 大会・JAGAT 地域大会）、page カンファレンス等、オンラインも含めた様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの加速度的な普及とコロナ禍による価値観の変化に伴い、印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるようになってきているため、特に重点を創注において対応する。2022 年度の重点テーマは after コロナ時代のニューノーマルに対応するための「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「地域活性ビジネス」「見える化」など。

当会指導により厚生労働省令の母子健康手帳に採用された「便色カード」サポートの普及啓発活動、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー調査など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を継続する。資格制度については抜本的な見直しも含めた検討を行う。

●計画の要点・重点目標

- ・研究会活動は after コロナ時代のニューノーマルを見据えた「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「地域活性ビジネス」「見える化」「海外印刷動向」を共通の重点とした研究調査とミーティングを企画、展開して情報発信する。
- ・特に以下を重点的な研究調査分野と位置づける。
 - ① マーケティング
 - ② デジタル印刷
 - ③ クロスメディア
 - ④ 地域活性ビジネス
 - ⑤ 見える化
- ・印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
- ・「印刷産業経営動向調査」「デジタル印刷レポート」「印刷業毎月観測アンケート」「カラーマネジメント技術サポート」など、従来の研究調査・コンサルティングを継続する。
- ・資格試験では、2 段階制に移行した DTP エキスパートの認知度向上を図るとともに、より受験しやすい制度に近づける検討を行う。

◆研究会

●テキスト&グラフィックス領域

●クロスメディア領域

●印刷マーケット領域

研究領域

1. テキスト&グラフィックス領域

テキスト・組版、グラフィックス・画像に関する技術を基本的な主要研究テーマとし、関連生産技術分野も含めて研究領域とする。印刷・出版分野にとどまらない幅広いテキスト・グラフィックス関連情報を技術視点から研究調査、最新情報を収集・分析・発信する。

2. クロスメディア領域

印刷メディアからデジタルメディアへの横断的な情報コミュニケーション分野全般に関する関連先進技術の動向を基本的な研究領域とする。デジタル技術革新の印刷業界への影響、デジタルと紙を最大効率で組合せて活用するクロスメディア技術の手法について分析する。

3. 印刷マーケット領域

印刷産業・印刷市場・印刷経営・印刷メディアの4視点から、印刷ビジネスの現状と可能性を客観的に捉える。印刷会社の経営改革と印刷メディアの持続可能性に資するべく、情報を収集・分析・発信する。

重点テーマ

1. テキスト&グラフィックス領域

デジタル技術によって進化する印刷制作・生産の近未来、デジタル印刷関連の新技术、ロボット化など自動化動向を中心に、カラーマネジメントの動向なども含め、制作環境・印刷生産・工場運営の変化に伴って生まれる技術の評価と応用の可能性について探る。

2. クロスメディア領域

デジタルメディアの印刷ビジネスへの応用、デジタルメディアと印刷メディアの組み合わせによる相乗効果の追求、5Gや脱炭素などの技術革新と価値観変化が印刷メディアビジネスに与える影響について重点にする。

3. 印刷マーケット領域

デジタル時代の印刷会社・印刷メディアの可能性及び、with/afterコロナ時代の印刷ビジネスのあり方について重点を置く。印刷会社の経営資源を活用した地域社会の活性化と成果の享受、そのためのメディアの使い方などローカルマーケティングもテーマとする。

*開催テーマ予定

●テキスト&グラフィックス領域/クロスメディア領域/印刷マーケット領域

- ・LEDで変わるカラーマネジメント
- ・プラスαの印刷加工（デジタル加飾、透明・白・蛍光トナー、特殊原反）
- ・トラブル防止に向けた印刷の検査装置と検査体制
- ・RGB印刷に取り組む印刷会社事例
- ・SDGsに向けた工場の省エネルギー化
- ・プリプレスワークフローの現状
- ・ワークフローRIP周辺の一体運用（RGB運用、USMなど）
- ・デジタル印刷のビジネスモデル（サブスク・カタログなど）
- ・バーチャル展示会の実際と展望
- ・デジタルマーケティングとSFA/CRM
- ・多様化する印刷通販ビジネスのポイント
- ・脱炭素へ向けた発注者と印刷会社の方向性
- ・AI活用の実用化分野と事例
- ・印刷会社の経営分析報告2022
- ・『印刷白書2022』発刊記念セミナー
- ・チラシメディアの新たな展開
- ・回復基調の続く出版市場を追う
- ・地域メディアとフリーペーパー
- ・印刷ビジネスの動向と展望2022-2023
- ・広告・通販に見る企業と生活者のメディア利活用2023

◆研究調査事業

- 月刊誌『JAGAT info』の発行（年12回）
 - ・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「デジ印奏論」「私の若手社員時代」「技術トレンド：テキスト／グラフィックス／クロスメディア」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワードを探せ」「ワールド・プリント・サテライト」「地域活性ビジネス研究」など印刷産業の周辺関連情報を広く提供する。
 - ・毎号の特集及び不定期連載では、3号にわたって掲載する「印刷産業経営動向調査（業績編・戦略編・設備編）」「Recreating the Future」「マーケティング・ナウ」など、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げる。
- 『印刷白書2022』の刊行（年1回）
 - ・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作する。
- 『デジタル印刷レポート2022-2023』の刊行
 - ・「JAGAT info」に掲載した事例に書き下ろしを加えてレポートを発刊する。
- 日印産連『デジタルプレス推進協議会』
 - ・協議会運営
 - ・調査票の設計・配布・回収・確認
 - ・調査結果の集計・分析・レポート作成
 - ・調査報告会
- 第44回『印刷産業経営動向調査2022』
 - ・調査結果の集計・分析
 - ・分析レポートのJAGAT infoへの掲載
 - ・回答社への分析結果フィードバック
 - ・報告会（東京・愛知・大阪）
 - ・報告書の制作・刊行
- 『印刷業毎月観測アンケート』
 - ・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載
- 『全国印刷会社のフリーペーパー調査』
 - ・調査・集計・分析・調査結果のフィードバック
 - ・大学講義教材としての活用
 - ・『page』等での展示陳列
 - ・印刷総合研究会での報告会
- デジタル印刷事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載
- 地域活性ビジネス事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載
- 印刷関連団体への協力・委員派遣
 - ・日本印刷産業連合会
 - ・全日本印刷工業組合連合会
 - ・東京都印刷工業組合
- 印刷振興のための講師派遣・講座開発提供
 - ・日本大学
- 印刷会社の経営見える化支援
 - ・「見える化実践塾」の企画・運営
 - ・印刷会社の経営改善に向けた啓発、支援、組織化、コンサルティング等

- トピック技術セミナー2022
 - ・2022年の印刷関連注目技術を集約して年末に開催する。
- JAGAT大会2022
 - ・リアル開催を軸に予定する。
- page2023カンファレンス（2023年2月）
 - ・基調講演・グラフィックス・マーケティング・クロスメディアの4カテゴリからなる10カンファレンスを開催する。
- 印刷標準・カラーマネジメントサポート
 - ・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング。
- 新生児向け予防医療支援「便色カード」
 - ・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援。
- XMLパブリッシング準研究会の開催
 - ・XML技術による編集組版・オンデマンド出版・電子書籍をテーマとする研究会の運営。
- コンサルティング（適宜）
 - ・カラーマネジメント分野
 - ・クロスメディア分野
 - ・その他

◆資格制度

*計 画

- ・DTPエキスパートの人物像、役割を明確にし、業界及びメディア関連企業の将来を支えるために必要な人材であることを訴求する。
一方で、求められる新たな人材像に応じた試験制度の抜本的見直しを具体的に検討する。
- ・模擬試験講座、個別企業への講師派遣、などの受験対策のための教育機会を増強し、受験者増につなげる。
- ・DTPエキスパート認証制度は2020年3月実施試験から始めた2段階制の普及を継続するとともに、資格制度のあり方について抜本的な検討を続ける。

<DTPエキスパート>

印刷物製作全体の知識を新ビジネスの創造・実践に結び付ける人材（学科）

<DTPエキスパート・マイスター>

印刷用データ制作において高いスキルを持つとともに、印刷物活用の目的を達成するためのデザイン力を兼ね備えた人材（学科+実技）

学科試験のみによる認証を設けることで、企画・営業職を始め印刷関連メーカーの人材育成に活用してもらうことで、受験者増を目指す。

■CS 部

●部門方針

- ・page2023 展示会はリアル開催に向けて計画していく。来場者が安心安全に来場できる環境づくりと、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、イベントを企画を行うことで来場者増を図っていく。
- ・教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。
- ・公益法人として、印刷および関連企業は勿論、クライアント（印刷発注側企業）の課題解決も視野に入れたメディアづくりなど、JAGAT ならではの企画、コンテンツにより、他との差別化、付加価値向上を目指す。

●計画の要点・重点目標

- ・page は総力を上げてリアル展の開催に向けて計画していく。コロナ禍でスポンサー企業の広告投資についてより費用対効果が求められることを考慮し、宣伝効果の高い page 展の企画の充実化に注力する。
- ・教育商品の主体であるセミナーは、オンラインセミナーの開催を増やすことで、全都道府県の印刷関連企業が受講しやすい環境と機会をつくる。

◆会 員

会員メリットの高い大型セミナーや page 出展等を訴求していくことで、会員拡大を図る。

*計 画

入会 10 社（再入会 2 社）：page6 社、セミナー2 社、西部支社・その他 2 社

◆交流イベント／サービス

●JAGAT大会

会員大会＝JAGAT 大会 2022 は、コロナの状況、会員の利便性等を鑑みながら、開催方式をリアルあるいはオンラインの方向性を模索する。（リアル開催の場合は、『印刷白書 2022』発表の場とする。）

*計 画 参加 250 名（リアル開催の場合は 150 名）

●JAGAT地域大会（JUMP）

地域大会＝JAGAT 地域大会はオンライン開催を計画。
各地域の会員企業への情報提供の場とする

*計 画

※オンラインで 1 回開催予定

◆page/イベント

2022年度もコロナ禍が続くことは予想されるが、page2021はオンライン開催、page2022はリアル展示会を開催したことで、リアルとオンラインのイベント両方の運営の実績とそれに伴う知見を得ることが出来た。よってpage2023においては、コロナ禍におけるリアルとオンラインの最適な融合を模索し、出展企業と来場者双方にメリットがあり、印刷業界の活性化させるイベントを構築していく。

*計 画

展示小間数 500小間以上 (出展社 概ね100社以上)

page2023においては、リアル展示会出展の獲得だけでなく、page2022のオンラインプロモーションで得た成果を訴求し、リアルとオンラインの最適な融合を図る。通期での事業展開を図り、JAGATのあらゆる事業とpage2023の浸透・PRを結び付けて、JAGATへの入会促進をとともに、収益事業として予算達成を目指す。さらに来場者目線に立ったクオリティアップを行い、イベントの価値向上によって業界全体の活性化に寄与すべく、様々な企画を検討する。

◆広 告

長引くコロナ禍で、スポンサー企業の広告予算が見直されることは十二分に予想される。またpage2022において2年ぶりにリアル展示会を開催した際には、出展小間数はコロナ前の8割弱は維持できたものの、出展企業も出展費用以外の経費を最小限に抑える傾向があり、広告売上は減少した。一方、業績回復を目論む企業や、withコロナとして企業活動を行う企業が増える中、その動きをサポートすべく、新たな広告支援策を検討する。また、これまでのJAGATによるオンラインイベント、セミナーの開催実績を活かし、単なるメディアへの広告出稿にとらわれない施策を講じる。

*計 画

広告枠 Ji誌 70本以上 (企画広告6本以上を含む)、不定期媒体などの広告枠 10本以上

◆通信教育

JAGATの通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」のプロモーションや短期受講型の新講座開発、セミナーとの連携を図る。

*計 画

- *JAGAT : 14講座+受託販売講座 : 22講座 650名受講
- ・「新入社員コース」内定者向け教育採用キャンペーンの早期実施。
- ・「印刷技術・基本コース」のフォローアップ教育としての提案
- ・既存大口受注企業の継続受注。
- ・企業の教育体系の構築によるセミナーと合わせて受注。

◆刊行物

JAGAT の使命である情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。

「みんなの印刷入門」「オフセット印刷技術」「トラブル解決」等の印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。受験促進も含め、主催資格の対策参考書の販売。「印刷白書」「経営動向調査」といったコアな統計情報、「デジタル印刷レポート」等各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

*計 画

*JAGAT 発行 15 点＋受託販売 合計 2,000 冊＋page 販売

- ・基本図書「みんなの新印刷入門」及び「新版 DTP ベーシックガイダンス」のプロモーション
- ・「DTP エキスパート受験サポートガイド」受験促進に合わせた PR

◆セミナー事業

●本社セミナー

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。

*計 画

定期プログラム 40 講座を準備し年間 70 回開催、総受講者数 800 名を予定する。

- ・新入社員向け研修のライブ&オンデマンドによるハイブリッド配信へリニューアル
- ・大型ゼミの販売拡充（経営幹部ゼミ、工場長養成講座）
- ・グループコンサルティング研修の開発（新ビジネス開発、DM 関連）
- ・講師の発掘及び新規セミナーの開発
- ・生産性向上訓練の受託
- ・個別企業へのオンライン講師派遣研修の拡充

●地方・組合セミナー／認定講習会

要望の多い page セミナーや東京で多くの人に関心を寄せたテーマをリアル、オンラインと各地域の要望に合わせた開催形式で提案・実施していく。

*計 画

組合主催セミナー・・・新入社員研修会 6 県（宮城、富山、石川、岐阜、愛知、東京）
その他、各県工組に計 10 回講師派遣に向け提案

■西部支社

*方針⇒支社としての役割の充実

- ・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
- ・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

*計画

- ・セミナー45本（生産性支援訓練10本）開催、550名の受講を計画する。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を考慮したうえで事業を工夫しながら継続する。
- ・本社と連携しオンライン配信講座（社内研修を含む）の充実を図る。
- ・西部支社から近畿地域への入会促進および各種情報発信を実施する。

■管理部

*計画

- ・老朽化する施設設備の適切なメンテナンス。
- ・受変電設備機器の更新作業を実施予定。
- ・遊休資産活用と社内環境整備。
- ・万全な新型コロナウイルス感染防止対策の実施。
- ・適正な人材補充。